

## 下水道BCPに基づく図上訓練の開催について

### 1 要旨・目的

県内の下水道事業者（神石高原町を除く22市町）（以下、「事業者」という。）を対象とした下水道BCP（業務継続計画）に基づくロールプレイング方式図上訓練を開催し、情報伝達の迅速化や被害に対する対応力の向上を図るとともに、訓練から得られた課題を抽出・整理し、下水道BCPの実効性を高めることを目的とする。

### 2 現状・背景

全事業者において下水道BCPを策定しているが、下水道BCPに基づく訓練を実施している事業者はほとんどなく、特に、近年大規模地震災害を経験していないため、下水道BCPの実効性について確認できていない。

また、広島県は大規模な災害等が発生した場合に下水道対策本部を設置し、広域的な支援体制を整え、被災事業者の災害復旧活動の支援を行うことになるため、訓練を通じて事業者が抱える問題点等を把握し、下水道対策本部としての対応力強化を図る必要がある。

### 3 概要

#### (1) 実施主体

土木建築局都市環境整備課（協力：公益財団法人日本下水道新技術機構）

#### (2) 実施期間（日時）

令和4年5月31日（火）・6月1日（水） 13:00～15:45

※事業者を2部に分けて両日とも同様の内容で実施

#### (3) 場所

広島県立総合体育館 大会議室

#### (4) 実施内容

災害発生から支援者が到着するまでに対応が必要な項目（発災後～3日程度を想定）を対象に、プレイヤー（各事業者）は、コントローラー（県）からの電話や紙面で付与される被災情報から必要な対応を判断し、検討・記録・連絡等を行い、訓練終了後にはアンケート等により振り返りを行う。

